

「学校教育目標」と「令和8年度めざす子供の姿」に向けて

学校教育目標…『知・徳・体の調和のとれた児童の育成』

めざす子供の姿…鉛筆の子(知:なぜ?を大切にする姿)・笑顔の子(徳:心で聴く姿)・太陽の子(体:粘り強く取り組む姿)

笑顔の子 心で聴き、伝えられる子

相手に寄り添う心を大切にしましょう。

- ・道徳教育
- ・ポジティブ教育
- ・児童会活動
- ・あいさつ運動
- ・学級会の充実

太陽の子 粘り強く頑張る子

粘り強くがんばるために健康でいよう。

- ・体を動かす(体育授業や外遊び等の充実)
- ・早寝、早起き、朝ご飯の推奨
- ・運動場朝礼

鉛筆の子 「なぜ?」を大切にして主体的に頑張る子

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 【知】 主体的 (他の学習や生活場面でも活用)
- 【徳】 自己有用感 (相手意識→他者を認める)
- 【体】 粘り強さ (健康な体と体力向上)

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 【知】 探究心を持って主体的に学習できる
- 【徳】 自己有用感を持って生活できる
- 【体】 目標に向かって粘り強く取り組める

児童生徒の実態

(強さ)

- ・素直で真面目に取り組める
- (課題)
- ・主体的に取り組む力
- ・聴く力、伝える力

児童生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする児童生徒への指導

生活指導主任、特別支援コーディネーター、SC、SSW、外部機関と連携して、児童の教育的ニーズを把握した支援を行う。

目指す児童生徒の姿

- ・主体的に取り組める子
- ・互いを認め、自己有用感を持てる子
- ・粘り強く取り組める子

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 【知】 「なぜ?」を大切にして主体的に探求し続ける力
- 【徳】 コミュニケーション能力(聴く力・話す力)
- 【体】 夢や目標を持ち、粘り強く取り組む力

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 【知】 聴いて・考えて・つなげる授業の実践(問いの工夫・見方考え方)
- 【徳】 「話す・聴く」の系統表の実践(認め合える自治活動)
- 【体】 目標を持ち、心の粘り強さを鍛える活動(運動場朝礼)

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・全校朝礼の実施(スマイルタイムの活性化)・読書活動の推進・学校図書館の効果的活用
- ・特別活動による自治力の育成(学級会・学年杯・学年実行委員・縦割り班活動の充実)・確かな学力の定着

安心・安全を守る

- ・配慮が必要な児童への対応・寄り添った指導
- ・教育相談(ケース会議)の充実
- ・いじめの根絶・年2回の安全点検(施設管理)

開かれた学校作り

- ・通信やHPなどでの情報発信の充実
- ・外部人材の活用・学校開放月間(学校開放日)
- ・学校運営協議会との連携・保護者による学校評価